

山の天気予報はヤマテン

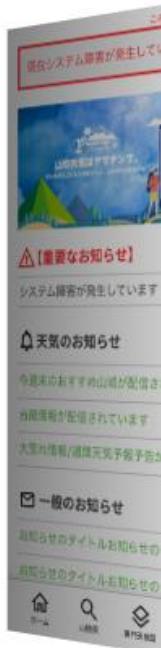
山でのアクティビティに必要な最新の気象情報が見放題！

[特徴や機能を詳しくみる >](#)

気象データの利活用事例および課題

(株) ヤマテン 浅井 丈昭 (あさい ともあき)
2025年3月21日

初心者からプロにまで信頼される
登山者向けの天気予報
「ヤマテン 山の天気予報」



すでに会員の方

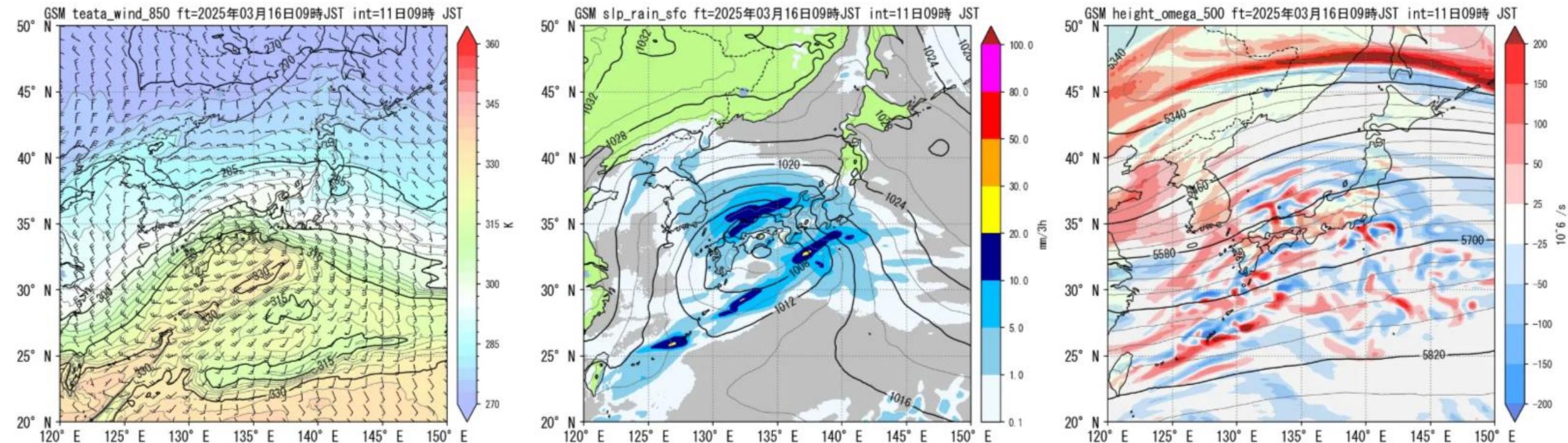
[ログイン](#)

まだ登録していない方

[新規登録](#)

気象データアナリスト講座を受けようと思った動機

- ① 気象データのハンドリング技術を習得し、オリジナルの天気図を作成したい
- ② 機械学習を利用してみたい



●活用例1. 観光×気象データ（気象予報）：高原リゾートの集客サポート



富士見パノラマリゾート様 <https://www.fujimipanorama.com/>

ヤマテンから雲海予報をご提供。
集客予測から在庫管理などにご活用いただいている。

雲海発生予報 11月16日
(土) 60~70%

北海道付近の高気圧に緩やかに覆われる。風が弱く放射冷却も強まり、**雲海が見られる可能性は比較的高め**。曇りがちになる可能性はあるものの、その場合も雲の隙間から**ご来光**が見られたり、**朝焼け**に染まる光景をみられるチャンス。**八ヶ岳の展望**も楽しめそう。

気象予報士が気象データを解析し、予報を提供する形

●活用例2.施設管理×気象データ（気象予報）：人工降雪機の稼働判断



冬は人工降雪機でスキー場を管理。

電力消費・人件費・水道費の支出を抑制するため、無駄な稼働を低減したいというご要望があった。



富士見パノラマリゾート様 <https://www.fujimipanorama.com/>

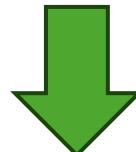
●活用例2.施設管理×気象データ（気象予報）：人工降雪機の稼働判断



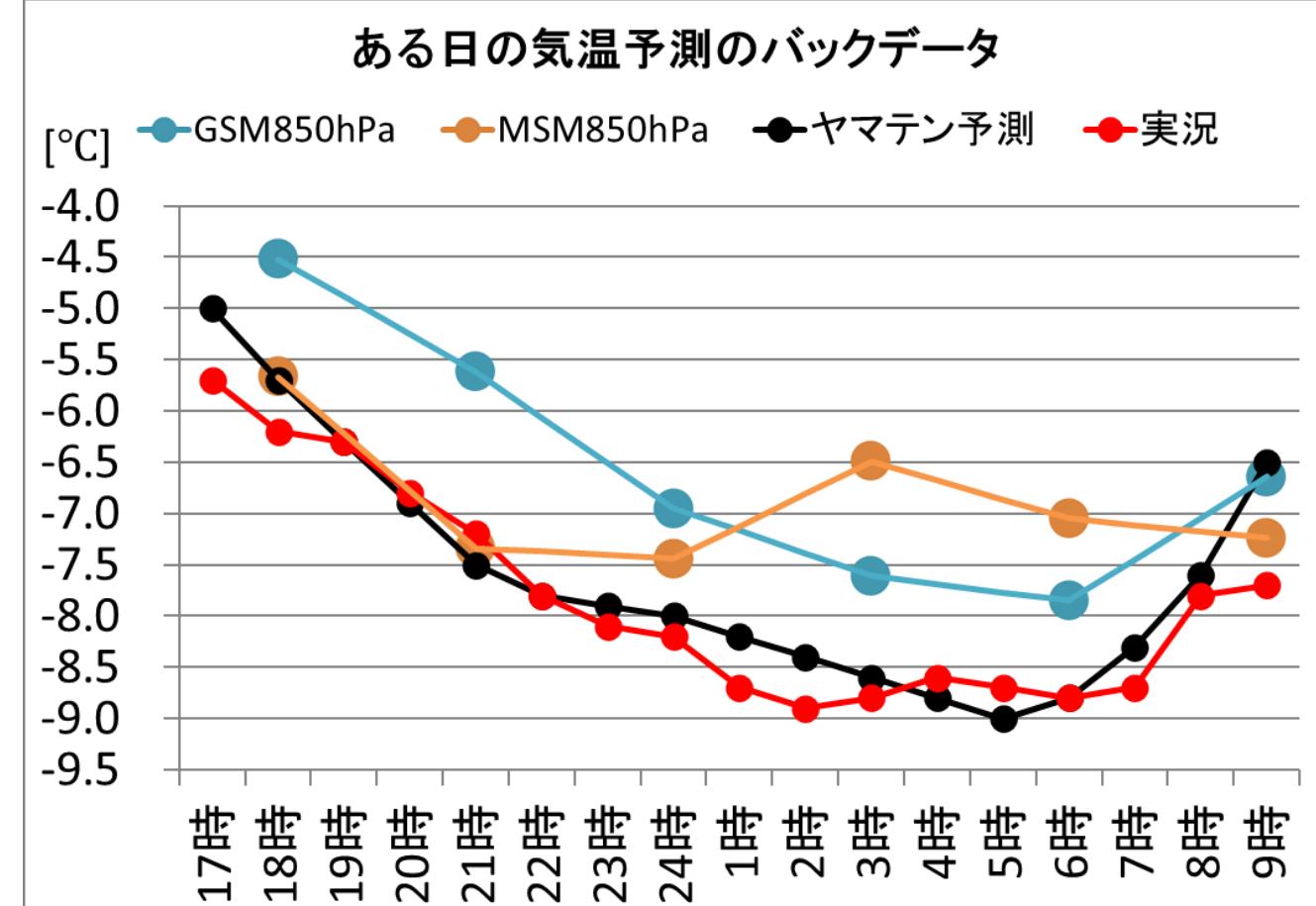
ヤマテンから気温予測をご提供。
稼働判断にご活用いただいている。

気象予報士が数値予報の系統誤差を
補正して、予報を提供する形

単純な時系列データなので
機械学習を取り入れたい！



課題があり、挫折。。



観測データの扱いが難しい

- ・観測データが奇妙なフォーマット（下表）。
- ・測器が故障すると同じデータが連續して記載されるときがあり、現場の方と精査する必要がある（下表）。
- ・弊社の解析担当が観測データを受け取るまでのタイムラグが日毎に異なる。などなど

1行空いているときと、
1行空いていないときがある

出力されていないときがある

時間	気温
1月2日 21:00	●●℃
1月2日 22:00	■■℃
1月2日 23:00	▲▲℃
1月3日 0:00	▲▲℃
1月3日 2:00	▲▲℃

同一値が不自然に
連続するときがある

●失注例から見える課題

失注例：「ある気象現象を予報し、観光に活かしたい。
予報は機械学習でモデルを自作し自動化したい。」

課題

- ①観測データの扱いが難しい。
(記録が離散的であったり、手記などでデータ取り込みがツライ)
- ②学習用の気象データが想像よりコスト高。
- ③気象データ受信システムの開発も必要。
- ④予報システムだけでなく、予報を公開するwebシステム開発費も必要。
- ⑤結果として、費用対効果がイメージできない。

これから気象データの利活用を考える上で共通する課題か

ご清聴ありがとうございました